



2026年2月3日

各 位

会社名 HENNGE株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小椋 一宏  
(証券コード: 4475 東証グロース)  
問い合わせ先 執行役員 小林 遼  
(TEL. 03-6415-3660)

### 新サービス「HENNGE Endpoint & Managed Security」に関するお知らせ

HENNGE株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：小椋 一宏）は、この度、当社グループのクラウドセキュリティサービス「HENNGE One」のさらなる付加価値創出に向けた取り組みの一環として、「HENNGE Endpoint & Managed Security」を新たに提供開始する旨を公表いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、別添のプレスリリースをご参照ください。

なお、本件による当社の連結業績への影響は軽微と見込んでおりますが、中長期的に当社の業績及び企業価値向上に資するものと考えております。今後公表すべき事項が生じた際には、速やかにお知らせいたします。

#### 【添付資料】

プレスリリース：

HENNGE、サイバー攻撃を端末で検知する EDRと運用管理サービスに参入、侵入を防ぐ脆弱性診断まで一括提供

以 上

# HENNGE、サイバー攻撃を端末で検知する EDR と運用管理サービスに参入、侵入を防ぐ脆弱性診断まで一括提供

～業界最高評価のセキュリティエンジンを採用、専門家が PC などを 24 時間 365 日監視する「HENNGE Endpoint & Managed Security」を 3 月開始～

2026. 02. 03



HENNGE 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小椋 一宏、以下 HENNGE）は、クラウドセキュリティサービス「HENNGE One」において、PC などの端末を保護する新サービス「HENNGE Endpoint & Managed Security」を 2026 年 3 月より提供開始することをお知らせします。本サービスは、高性能な EDR（エンドポイント検知・対応）に、24 時間 365 日運用・対応する MDR（管理型の検知・対応）と、脆弱性診断や非常時対応を統合したパッケージです。専門人材が不足している企業でも、最小限の負荷で高度なセキュリティの防御体制を実現できます。入口の対策から事後対応まで、専門家が一気通貫のサポートを標準で提供するサービスは、業界でもあまり類を見ません。

## ■ 開発背景・解決する課題

昨今、多くの企業で端末などへの脅威の検知・対処を目的として、EDR の導入が進んでいます。ただ現場では「毎日のように届くアラートへの対応に疲弊している」「侵入された後の対処（インシデントレスポンス）ができる専門人材がない」という課題を抱えています。

HENNGE Endpoint & Managed Security は、このような導入後の運用負荷を解消するために開発しました。HENNGE として、EDR・MDR の市場に参入するもので、お客様のシステム環境における

ゼロトラスト推進を支援してまいります。

企業を狙うサイバー攻撃を業界最高評価の能力で防御・検知する EPP（エンドポイント保護プラットフォーム）と EDR をベースに、24 時間 365 日運用をする MDR、侵入の起点となる VPN 機器などの脆弱性診断までをセットで提供。常に最新の対策を更新しながら常時監視します。攻撃の成功率を極限まで引き下げ、セキュリティ人材が不足しているような企業でも、最小限の運用負荷で最高レベルの安全性を実現します。

### ■ HENNGE Endpoint & Managed Security の 3 つの特長

本サービスは HENNGE One を構成する 3 つの Edition のうち、サイバー攻撃対策の「Cybersecurity Edition」において提供します。

最大の特長は、一般的な MDR が「EDR のアラート対応」に留まるのに対して、外部に公開している IT 機器に対する日次レベルでの脆弱性診断、未管理の公開機器やサーバーの洗い出し、リスク評価まで行う点です。具体的には「予防」「防御」「監視・対応」の 3 つの特長を持ち、検知してからの対応力に加えて、「水際で止める」能力を最重要視しています。



1. 【予防】脆弱性の診断と対応の自動化で、攻撃される「隙」を排除する  
攻撃者の狙う「弱点」を日常的に発見、対応し続ける機能を備えています。内部と外部、両面からの予防アプローチでリスクを未然に低減させます。

- **自動パッチ管理（ソフトウェアアップデート）**： 攻撃の多くは、OS やアプリの更新忘れ（脆弱性）を突いて行われます。本サービスは更新プログラムの適用を統合的にを行い、常にセキュアな状態を維持します（Windows 版のみ）。
- **公開資産の脆弱性診断・リスク評価（ASM：アタックサーフェス管理）**：  
： インターネットに公開されているサーバーや VPN 機器などの「管理不備」を洗い出し、対処すべき危険な脆弱性をリスク評価とともに可視化します。

2. 【防御】 「Best Protection」 受賞エンジンを搭載した EPP。100%の防御スコアで侵入を許さない

防御の中核には、第三者評価機関 AV-TEST で 2024 年度「Best Protection Award（最優秀防御賞）」を受賞した WithSecure™ Elements を採用。9 万個以上のマルウェア検体に対し「防御スコア 100%（※1）」を記録した実績で、未知の脅威やランサムウェアの実行をブロックします。

※1 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000391.000001340.html>

- 未知の脅威も止める「ディープガード」： パターンファイルに依存しない独自の振る舞い検知技術により、未知の攻撃やランサムウェアの実行を阻止します。
- Web 脅威を遮断する「ブラウザ保護」： ユーザーが誤って危険なサイトにアクセスしようとしても、接続自体をブロックして感染を防ぎます。
- 万が一の「ロールバック」：ランサムウェアに暗号化されたデータを、即座に OS の設定ごと復元し、被害を最小限に抑えることができます。

3. 【監視・対応】 24 時間 365 日の MDR と「ユーザーポータル」で、見えない脅威を可視化 強固な防御と予防をすり抜ける高度な脅威に対しては、専門アナリストによるハイブリッドの監視体制が 24 時間 365 日、目を光らせます。

- 専門家による初動対応：EDR の膨大なログの中から選別、初動対応を実施。「対応が必要なインシデント」だけを選別して通知するため、ユーザー側の担当者が不要な対応に追われることはありません。  
専門家が、不要なプログラムやファイルの削除や該当機器のソフトウェア更新の助言、メーカーへの問い合わせ対応などを行います。
- 状況が見える「ユーザーポータル」： アラートへの対応状況や、日々の脆弱性診断の結果などを直感的なダッシュボードでいつでも確認できます。ブラックボックスになりがちな運用を透明化します。
- 月次レポートの提供： 月間の運用状況に加え、デバイスの健全性（ポスチャ）やリスク評価をまとめたレポートを提供し、継続的なセキュリティの向上を支援します。

## ■ 提供開始時期・価格

- 提供開始日： 2026 年 3 月（予定）
- 提供価格（税抜）： ユーザー端末 1 台あたり 月額 950 円  
MDR サービス（24 時間監視・レポート）、ASM（脆弱性診断・リスク評価）、EPP/EDR ライセンスをすべて含んだ価格です。詳細なプラン構成やボリュームディスカウントについてはお問い合わせください。サービス詳細やお問い合わせは以下をご覧ください。  
<https://hennge.com/jp/service/one/cybersecurity/>

## ■ WithSecure の日本法人・ウィズセキュア株式会社からのコメント

ウィズセキュア株式会社 代表執行役員社長 藤岡 健様

「多くの受賞歴を持つ当社の WithSecure Elements が、HENNGE 様の新サービスに採用されたことを大変嬉しく思います。独自の振る舞い検知技術やランサムウェア対策、Web 脅威の遮断など、最先端のセキュリティ機能を HENNGE 様の高度な運用管理と組み合わせることで、企業の IT 環境を多層的に保護することができます。2024 年度の『WithSecure Japan Partner of the Year』を受賞されている HENNGE 様との連携により、日々進化するサイバー脅威に対し、より多くの組織が安心してビジネスを推進できる環境を提供できるものと確信しています」

## ■ HENNGE 株式会社について

1996 年 11 月に設立。「テクノロジーの解放で、世の中を変えていく。」を理念に、テクノロジーと現実の間のギャップを埋める独自のサービスを開発・販売している SaaS 企業です。シングルサインオン (SSO)、アクセス制御、メールセキュリティ、セキュアなファイル共有など、多岐にわたる機能を備えた国内シェア No.1 (※2) のクラウドセキュリティサービス HENNGE One や、クラウド型メール配信サービス「Customers Mail Cloud」を提供しています。2019 年 10 月、東京証券取引所マザーズ市場 (現グロース市場) に上場。

社名の「HENNGE (へんげ)」は「変化 (HENNKA)」と「チャレンジ (CHALLENGE)」を組み合わせ、あらゆる変化に挑むとの決意を表しています。

会社名：HENNGE 株式会社

証券コード：4475

所在地：東京都渋谷区南平台町 16 番 28 号 Daiwa 渋谷スクエア

代表者：代表取締役社長CEO 小椋 一宏

URL：<https://hennge.com/>

※2 ITR「ITR Market View：アイデンティティ・アクセス管理／個人認証型セキュリティ市場 2025」IDaaS 市場：ベンダー別売上金額シェアにて 2021 年度、2022 年度、2023 年度、2024 年度予測の 4 年連続で 1 位を獲得

## <本リリースに関するお問い合わせ先>

HENNGE 株式会社

Corporate Communication Division

TEL：03-6415-3660

E-mail：[hennge-pr@hennge.com](mailto:hennge-pr@hennge.com) 担当：市嶋・矢野

本プレスリリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。